



自分たちで育てた花から取った種を風船に付けて放つ児童たち

## 遠くまで広がれ、人権の花の種

広安西小学校で種を付けた風船を空に放つ

広安西小学校の児童が11月16日、花の種を付けた風船300個を大空に放ちました。

これは、「人権の花」運動の一環として、人権擁護委員とともに行われたもので、放った種は、4月に贈られた種を児童たちが大事に育て、咲いた花から新たに取ったものです。児童たちは、人権メッセージを書き込んだ種袋を風船に付け一斉に放つと、届いた人から返事が来ることを楽しみに、青空高く飛んで行く風船をしばらくの間笑顔で見上げていました。

## 有事を想定し操法訓練の成果を競う

益城西原消防署管内屋内消火栓操法競技大会

益城西原消防署で11月14日、屋内消火栓操法競技大会が行われ、同署管内から参加した企業、福祉施設、自衛隊など17チームが訓練の成果を競いました。

1チーム3人が役割を分担。屋内消火栓から約30m先に設置された火点近くまでホースをつないで伸ばし、放水によって火点を倒すまでの時間や動作を競いました。張りつめた空気の中、有事を想定した競技に選手たちは真剣そのもので、その大きな掛け声は会場狭しと周辺地域まで響き渡っていました。



真剣な表情で消火栓操法を競う選手たち



ステージ上で児童と一緒に三味線を演奏する高崎さん

## 三味線の演奏を通してふれあい

広西っ子わくわくコンサート

広安西小学校体育館を会場に11月17日、「広西っ子わくわくコンサート」が開かれ、来賓や保護者、児童などでにぎわいました。

ゲストは広崎在住で津軽三味線演奏家として有名な高崎裕士さん。約850人の観客を前にオリジナル曲や民謡など計9曲が披露されると、会場は拍手喝さい。コンサートの間には、童謡の演奏に合わせて児童らが合唱したり、高崎さんと二人羽織で三味線を演奏するなどのふれあいもあり、笑顔で幕を閉じました。

Best Smile

今月のベスト笑顔

